



のごみっこ

鹿島市立能古見小学校
 学校だより 文責 山口高弘
 令和5年11月7日号 (No.14)



【学校教育目標】

「かしこく・正しく・たくましく 共に伸びゆく能古見っ子」

鹿島市教育研究大会を開催しました



10月26日(木)午後に「鹿島市教育研究大会・佐賀県教育委員会 教育課程研究指定校事業」として、算数科の公開授業と授業研究会を開催しました。これは、子どもたちの個性と創造力を伸ばし、生きる力を培う学力向上と教員の授業力向上を目的に行っています。鹿島市内はもとより、県内各地の教職員、保護者あわせて100人を超えるたくさんの皆様に来校いただきました。

公開授業は3年算数「何倍でしょう」と6年算数「表を使って考えよう(1)」で、授業のはじめ、中、終わりにそれぞれ工夫した取り組みをご覧いただきました。たくさんの参観者が教室に詰めかけ、教師も子どもたちも少々緊張気味でしたが、授業が始まると課題を自分で考えたり、グループで話し合ったりして、いつもの活動ができました。

授業研究会は、3・6年それぞれ分かれて行い、参観された先生方は6人ずつのグループで協議を行い、まとめとしてそれぞれの講師の先生（6年：長崎国際大学 浦郷淳先生、3年：西部教育事務所 中島良太先生）から指導や助言をいただきました。



自分の考えを紹介します：3年



そんな考えもあるよね：6年



授業研究会にてグループ討議の結果を紹介します：左 6年部会 右 3年部会

これから、教育活動全般に研究と修養を重ねて、「かしこく・正しく・たくましい」子の育成を目指します。



今年も豊作です ～地域の皆様の支援による稲刈り～

10月31日(火)に6年生が、校門横の学校田に植えたヒヨクモチを収穫しました。田植えなどでお世話になっている鈴山農園様とJAの皆様から、刈り取りの仕方を説明いただいたり、脱穀をしていただいたりしました。鎌を使って稲の刈り取りは、初めての子どもがほとんどで、素晴らしい体験活動できました。



鎌を使って稲刈り

11月は「児童虐待防止月間」です

国は11月を「児童虐待防止月間」と定め、子供の「命・権利・未来」は社会全体で守るべきものとしています。しかし、子供の命が脅かされる事案は発生し、児童虐待の相談件数は多いです。

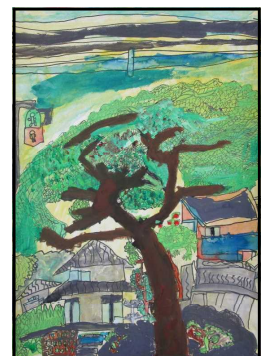
2022年度に佐賀県内の児童相談所が対応した相談件数は、5年連続で過去最多の1085件と発表されています。相談の主な内訳は、心理的虐待（言葉により脅かす、子供の目の前で家族に暴力を振るう：DVなど）が723件で最も多く、身体的虐待（殴る、蹴る、家の外に閉め出すなど）：229件、育児放棄（食事を与えない、ひどく不潔なままにする、他の人が子供に暴力を振るうことを放置する）：122件などとなっています。なお、児童虐待に関する通告や相談は、虐待対応ダイヤル「189」で受け付けられています。

法律では「教職員は児童虐待の早期発見に努めなければならない」と規定されています。この法律に則り、能古見小学校は早期発見に努め、万が一発見した場合は児童相談所や鹿島市福祉課に通告します。これからも関係機関と連携し、安心で安全な学校づくりに努めます。

佐賀県学童美術展 校内審査会 ～児童作品を校内展示します～

11月2日(木)に、職員研修会を兼ねた絵画審査会を行いました。講師は元本校校長の熊本英俊先生です。力作揃いで子供たちの表現の工夫や込められた思い、仕上げるまでの努力などよく伝わりました。

作品は、11月13日(月)から2階の中央廊下に展示しています。是非ともご来校いただき、ご覧ください。12月3日の日曜参観時にもご覧いただけます。



児童作品

お話の世界 ～落語・エプロンシアターのミニ公演～

10月30日(月)に3年生を対象にお話ドンドン(代表：大串鈴子さん)による落語・エプロンシアターのミニ公演がありました。大串さんの進行のもと、船津さんは落語「寿限無、動物園」の2本を、太田さんはエプロンシアター「金のがちょう」をご披露いただきました。生で見たり・聞いたり、笑ったりとすばらしい体験ができました。ありがとうございました。



お話の世界に浸りました

◆◆入賞おめでとう◆◆

○佐賀県文集「きらり」地区審査会

特選 2年：松尾詩月「お手つだいしたよ」 4年：廣瀬正侍「かっぴーの危き一ぱつ」

○明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選 4年：栗山鈴彩 6年：澤野なる

○嬉野親善少年野球大会 準優勝 能古見少年野球 敢闘賞 6年：橋本夢叶

○佐賀県少年少女レスリング選手権秋季大会 小4～6年：37kg級 2位 5年：清水大雅



■能古見小ホームページ ※QRコード⇒⇒



